



環境・安全報告書
Environmental And Safety Report



2013

CONTENTS

—目次—

1. 編集方針／報告対象範囲	1
2. トップメッセージ	2
3. 会社概要	3
4. 基本理念	4

Environmental

5. 環境マネジメントシステム	5
6. 2012年度環境目標及び活動実績	6
7. 環境配慮型製品の提供	7
8. 地球温暖化ガスの排出削減 地球温暖化ガスの排出削減推移、 個別のエネルギー使用の削減推移	8
9. その他の環境負荷低減活動 省資源活動、廃棄物の排出削減	9
10. 環境リスクマネジメント	10
11. 環境教育	11
12. 環境監査	12
13. 環境コミュニケーション	13
14. 地域貢献・工場独自の活動	14

Safety

15. 安全衛生管理	17
16. 環境負荷マスマランス	19

編集方針

凌和電子(株)は、環境マネジメントシステム(EMS)を導入した2006年以来、当社の環境活動をステークホルダーの皆様にご紹介する目的で毎年環境報告書を発行して参りました。今回は8年目となり、環境目標に掲げた活動や安全衛生活動、また社会貢献活動についても併せて紹介しています。

又、内容は、中期計画に基づき当社の重点目標とした「環境配慮型製品の提供」及び「地球温暖化ガスの削減」等の活動と共に、地域社会との共生として社会貢献活動や行政施策へも積極的に関わってきましたので、これらのご紹介も含めております。

本報告書は、環境省「環境報告ガイドライン～持続可能な社会を目指して～(2007年版)」を参考としています。

報告対象範囲

●報告対象期間

2012年7月1日～2013年6月30日
(2012年度)

●報告対象

凌和電子株式会社
(本社、本社工場、元町工場、山形工場)

2

トップメッセージ



当社は「地球環境の保護・保全」を重要な経営課題の一つと位置づけ、常に環境を意識したものづくりとサービスの提供を行うことで、環境にやさしい、環境と調和が取れた企業活動を継続・推進していきます。

代表取締役社長 斉藤 仁司

環境・安全報告書2013年版を発行するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

東日本大震災から2年半が経過し、少しずつではありますが被災地は復興に向けて前に進んでいます。当社としましても被災地企業として復興の一助となるよう努力する所存でございます。

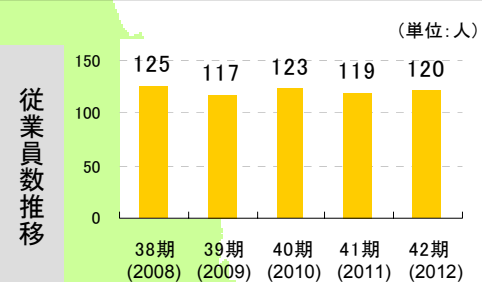
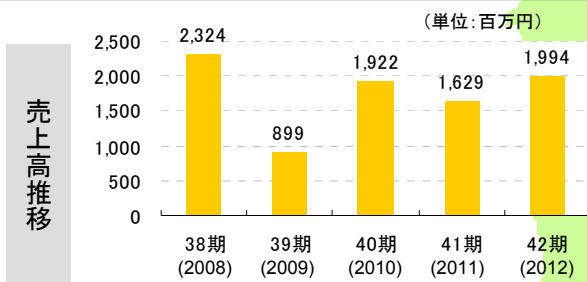
さて、当社は創立以来の企業理念である「創造と奉仕の精神」を礎とし、2012年7月には新たに中期経営方針を定め取り組み始めております。計測・制御機器メーカーとして、お客様及び社会の要請に応えるべく今後もより良い製品、サービスを提供して参ります。

環境保全分野では、2012年度は昨年度に引き続き、改善目標・維持目標に分けて重点化を図った活動を展開し、計画に対して全項目達成することが出来ました。

2013年度からは新たに一関システムセンターも加え、全4サイトでの活動をスタートさせております。具体的な活動としては「環境配慮型製品の提供」、「地球温暖化ガス排出量の更なる削減」、「品質・環境両面からの負荷低減活動」、「安全衛生活動」等、従来の取り組みの幅を広げた環境保全への目標を掲げています。今後も家庭生活も含め、社員一人ひとりの一層の環境意識の向上と定着に向け取り組んで参ります。

本報告書は当社の地球環境保全への取り組みと、2012年度の活動実績をまとめたものです。本報告書を通じて、より多くの皆様に当社の取り組みをご理解いただき、率直なご意見、ご助言をお寄せいただき、今後の活動の糧とさせていただければ幸いです。

創立	昭和47年 7月28日
資本金	7000万円
役員 (2010年9月1日現在)	代表取締役会長 安藤 正如 代表取締役社長 安藤 仁司 専務取締役 中島 正美 監査役 浅野 秀一
事業内容	省力化用機器、制御装置設計製作、工業用電子計測機器類設計製作、各種PCボードパターン設計製作及び実装、マイクロコンピュータ応用制御システム及び計測システム設計製作、自動機システム設計製作、磁性材料計測システム、画像処理技術、各種情報処理
規模	(本社)敷地:1274.03㎡(約386.1坪) 建屋:1098.24㎡(約332.8坪) (元町)敷地:1717.40㎡(約520.4坪) 建屋:1055.22㎡(約319.8坪) (山形)敷地:1866.94㎡(約565.7坪) 建屋:741.50㎡(約224.7坪) (一関)敷地:827.78㎡(約250.4坪) 建屋:104.24㎡(約31.5坪)
沿革	1972(S47) 凌和電子株式会社設立(仙台市舟丁) 1989(H1) 仙台市鶴代町に東部工場開設 1999(H11) 山形市高原町に山形工場を建設 2000(H12) 仙台市若林区六丁の目元町に元町工場を開設 2001(H13) ISO9001:1994認証取得 2006(H18) ISO14001:2004認証取得 2006(H18) 東部工場を元町工場に併合 2008(H20) ISO9001維持審査、ISO14001更新審査受審(認証継続) 2009(H21) ISO9001更新審査(2008)、ISO14001維持審査受審(認証継続) 2011(H23) ISO9001維持審査(2008)、ISO14001更新審査受審(認証継続) 2012(H24) 一関市狐禅寺に一関システムセンター開設



本社・本社工場

仙台市若林区南材木町



一関システムセンター

岩手県一関市狐禅寺



山形工場

山形県山形市高原町



元町工場

仙台市若林区六丁の目



■ 基本理念

当社は、創業以来「創造と奉仕の精神」を企業理念に掲げ、日々の研鑽に努めることによって社会に貢献することをお約束しています。これに基づき経営品質方針及び環境方針を定め、具体的活動に結びつけています。尚、2012年7月には新たに中期経営方針を定め、より明確な目標を掲げています。

企業理念

凌和電子株式会社は
「創造と奉仕の精神」をモットーに
日々、技術の研鑽に努め
より良い技術を創造して市場に提案しつづけることで
社会に奉仕します。

2009年1月1日
凌和電子株式会社
社長 安藤仁司

経営品質方針

基本理念

凌和電子株式会社は、企業理念を経営のよりどころとし、常に地域社会への貢献と顧客満足の実現を第一に、新しい時代に即した健全な企業活動(経営)を推進していきます。

行動指針

凌和電子株式会社は、基本理念のもと、以下の行動指針を定め展開していきます。

- ・規律ある社風のもと、優れた人材を育成し、着実な発展を遂げる組織を作ります。
- ・新たな知識や技術を積極的に取り入れ、顧客ニーズを捉えた満足度の高い製品、サービスを提供し続けます。
- ・改善の眼と挑戦する気概を忘れず、日々責任ある確かな業務と安全で効率よい生産活動に努めます。
- ・当社に関わるすべての人々と和を保ち信頼を重んじ、良好な関係を築きます。
- ・顧客要求事項、法令などに適合する製品提供のため品質マネジメントシステムを継続的に見直し、経営の体質強化を図ります。

環境方針

基本理念

凌和電子株式会社は、「地球環境の保護・保全」を重要な経営課題の一つと位置づけ、常に環境を意識したものづくりとサービスの提供を行うことで、環境にやさしい、環境と調和がとれた企業活動を継続・推進していきます。


行動指針

凌和電子株式会社は、企業活動の主体である「計測」と「制御」を特徴とする機械器具の開発、設計、製造、販売を通じて、以下の行動指針に基づき環境管理活動を推進し、地球環境との調和を目指します。

1. 製品の開発、設計、製造、販売、廃棄までの各領域において、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等により環境負荷の低減を進めると共に、環境にやさしいグリーン調達並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
2. 継続的に環境マネジメントシステムの改善を行い、環境汚染の予防に努めます。
3. 当社の環境側面に関して、環境に関連する法令、条例及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
4. 本方針に基づく環境管理活動を展開するにあたり、環境目的、環境目標を設定し、計画に沿った活動を展開し、併せて定期的な見直しを行います。
5. 本方針を、当社で働く人はもとより当社の企業活動に協力している方すべてに周知するとともに、社会の方々にも開示します。

中期経営方針

スローガン

Mind to the 
～価値にこだわれ！～
(勝ち)

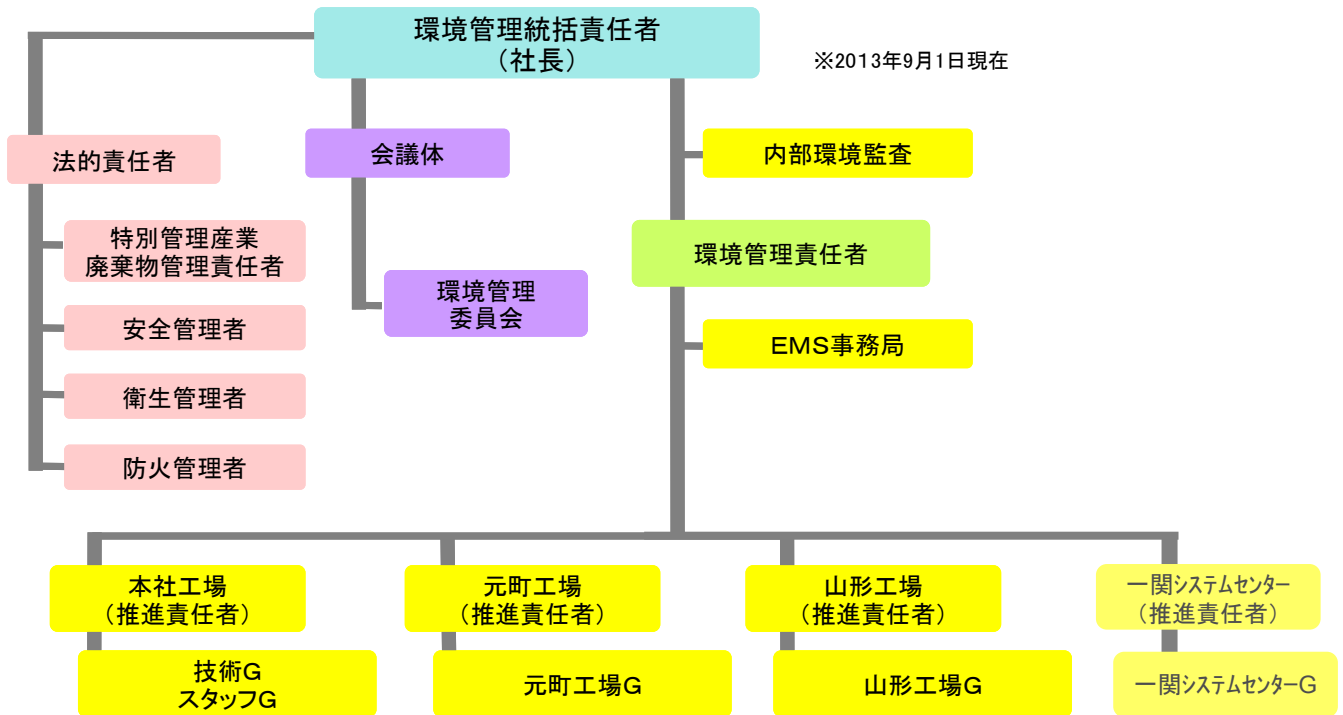
厳しい経営環境が続く中 競争に勝ち抜き
企業価値を高め 社業発展の道を歩んでいこう

- ◇3事業(充放電システム、画像処理、通信システム)の事業化確立
- ◇新規分野への営業活動の推進
- ◇海外市場への積極的アプローチ
- ◇3事業(充放電システム、画像処理、通信システム)関連技術の深化
- ◇磁気応用計測技術の展開と研鑽
- ◇環境に配慮した製品開発・設計業務
- ◇確固たる製品品質を担保するプロセス管理の徹底
- ◇付加価値生産性の更なる向上
- ◇能力開発のためのチャレンジ推進
- ◇コンプライアンス遵守に基づく社内諸規則の見直し
- ◇経営指標の予測管理
- ◇業務の効率化とスピードアップ

環境マネジメントシステム

当社の環境管理体制は、2009年1月から社長が環境管理統括責任者となり、活動を牽引しています。2013年7月からは一関システムセンターを環境管理体制に編入しています。

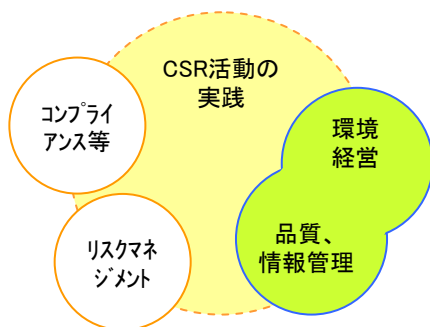
■ 環境管理体制



※一関システムセンターは本報告書では報告対象範囲外とさせていただきます。

■ 中期計画の基本的な考え

当社では環境経営だけではなく、コンプライアンス、品質、情報管理、リスクマネジメント等を包含した[CSR活動]への発展へ向け取り組んでいます。



■ ISO14001認証継続

2012年10月に維持審査を受け、認証継続となりました。

適用範囲:

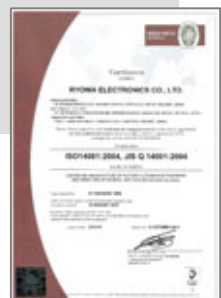
本社、本社工場、元町工場、山形工場

認証登録機関:

Bureau Veritas Japan.co.,Ltd.

認証登録番号:

2650344



2012年度環境目標及び活動実績

当社は、中期計画に基づき2012年度の活動を推進してきました。目標の設定では、昨年度同様当社が重点目標と定めたものを改善目標とし、それ以外の環境目標の中で中期計画目標「2010年度～2012年度」を達成した項目を維持目標として、活動にメリハリをつけています。

その中でも、環境配慮型製品の提供は世の中のニーズに応えるためにも重要なテーマであり、使命感を持ち取り組んできました。又、工場ごとに独自の自主目標を掲げた工場独自目標は、各工場の特色を生かし、社員の自主性を高められる活動として継続展開しています。

■ 2012年度活動実績(報告範囲:本社、本社工場、元町工場、山形工場)

2012年度は全社目標として改善目標5項目、維持目標3項目を掲げました。(環境コミュニケーション目標は4件を1項目としました) 結果として各工場とも全項目達成し、全社としても同様となりました。活動の結果からも負荷低減活動の定着化が窺え、社員の環境への意識も高まりを見せています。

評価基準

◎:中期計画をクリア ○:計画対比100%以上達成 △:95%以上達成 ×:95%未満

実績算出

実績値(%):2012年度計画対比/[]は同原単位比(人員ベース)

No.	項目	全社目的・目標		全社活動結果		関連ページ
		中期計画 2013年度	年度計画 2012年度	実績 (計画対比)	評価	
1	環境配慮型製品の提供	全製品環境 配慮型化の推進	製品アセスメント実施 71件以上 環境配慮型製品 登録46件以上	アセスメント87件 登録46件	○	P7
2	地球温暖化ガスの排出削減	2005年度実績より 11%以上削減	2005年度実績より 10%以上削減	△7.4% [+0.7%]	◎	P8
3	廃棄物の排出削減 (一般廃棄物)	2012年度目標 維持継続	1.2kg/人・月以下	△21.5% [△14.0%]	◎	P9
	廃棄物の排出削減 (産業廃棄物)	ゼロエミッション達成 リサイクル化推進	再資源化率95%	全工場:100%	◎	P9
4	オフィス用品のグリーン調達(調達率)	100%継続	100%継続	100%	◎	P14
5	紙資源の削減(購入量)	2012年度目標 維持継続	1.2kg/人・月以下	△8.6% [△+2.4%]	◎	P9
	節水活動の推進(水使用量)	2012年度目標 維持継続	0.7m ³ /人・月以下	△6.2% [△2.7%]	◎	P9
6	環境リスクの低減	環境コンプライアンスの 拡大強化	緊急事態対応訓練 の実施	各工場訓練実施	○	P10
7	環境コミュニケーション	環境安全 報告書発行	環境安全報告書発行 環境ニュース発行	環境安全報告書発行 環境ニュース 12回発行	◎	P13
		エコ生活推進	情報提供 (原則隔月)	エコ生活情報 6回発行	◎	P13
		地域・行政への 協力	地域・行政への 協力1件以上	・チャレンジ25参加 登録 ・仙台・みやぎクール ビス運動参加 ・仙台市まち美化サ ポーター登録・実施 ・環境配慮型事業所 認定・更新	○	P13
		工場独自活動の強化 (5件以上/工場)	工場独自活動の強化 (5件以上/工場)	全工場 実施	○	P14~

※No.1、2、3(産廃)、6、7は改善目標 No.3(一廃)、4、5は維持目標

維持目標の管理は管理値を基準として5%増までは管理内とする

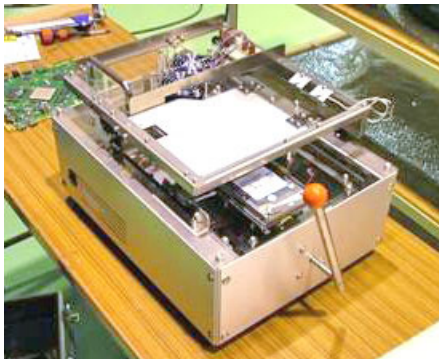
※工場独自の活動は14頁以降にご紹介しています

環境配慮型製品の提供

当社の環境目標の中でも特に重要と位置づけ、事業活動と一体化した目標として取り組んでいるテーマです。有害物質の排除や省エネルギー化など、すでに多くのお客様から環境対応製品が強く求められており、環境に配慮した設計・製作の思想の浸透は欠かせないものとなっています。

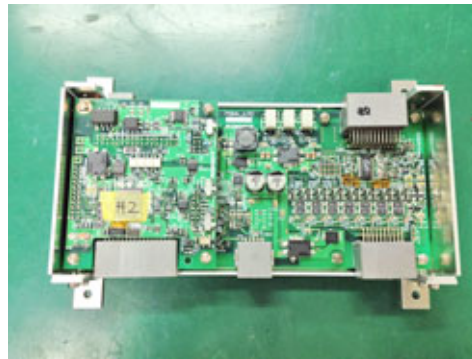
2012年度は環境配慮型製品の登録としては前年度と同じ件数となりましたが、新規製品の製品アセスメント評価は全て実施し、環境に配慮したものづくりを浸透させています。

■ 環境配慮型製品事例



PIN治具

RoHS指令対応
CEマーキング取得部品使用



BMS基板開発

RoHS指令対応
レベラ処理の鉛フリー仕上げ



磁界測定装置

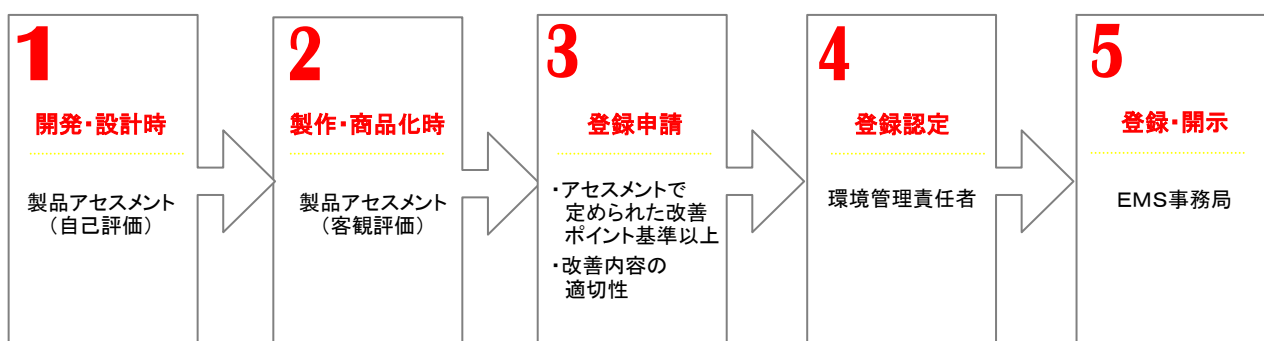
有害物質不使用
運搬の容易化(車輪付)



容量測定装置

RoHS指令対応
分解の容易化

■ 環境配慮型製品登録までの流れ



8

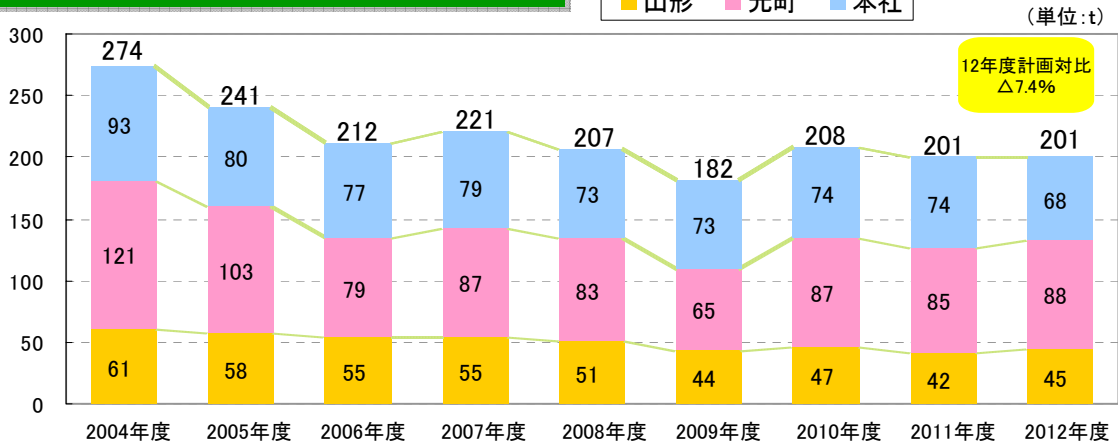
地球温暖化ガスの排出削減

当社は、事業活動に伴って生ずるあらゆる環境負荷の低減に努めています。特に地球温暖化の主因とされている地球温暖化ガスの排出削減については改善目標の1つに掲げ、尚一層の削減を図るべく取り組んでいます。

2012年度の二酸化炭素の排出量は201tであり、計画対比で7.4%の削減が図られました。



地球温暖化ガスの排出削減 推移

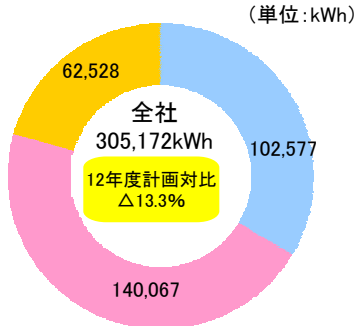


個別のエネルギー使用の内訳

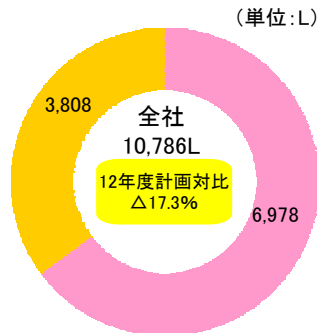
エネルギー源ごとでは計画対比で電気使用量13.3%減、灯油使用量17.3%減、自動車燃料14.0%増となりました。

震災以降の節電への取り組みが定着化し、2012年度はガソリン使用量の削減にも積極的に取り組みました。計画値増となりましたが、推移を見ると削減が図られたのが分かります。

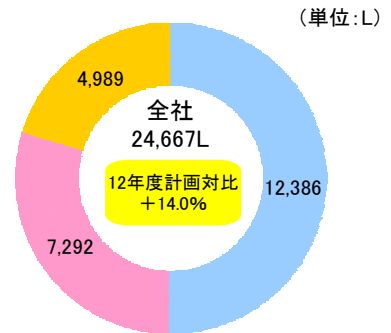
電気使用量の削減



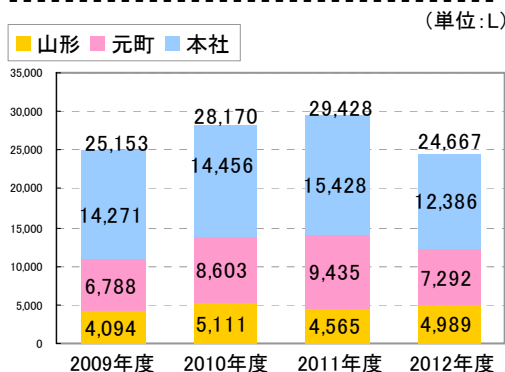
灯油使用量の削減



ガソリン(軽油)使用量の削減



ガソリン(軽油)使用量の推移



TOPIC

●ハイブリッド車の導入

当社は、今までもガソリン使用量削減の一環としてエコドライブ運転を進めてきました。2013年9月には使用頻度の高い営業車にハイブリッド車を導入し、更なる削減に努めています。

今後もエコカーへの乗換えを推進していきます。

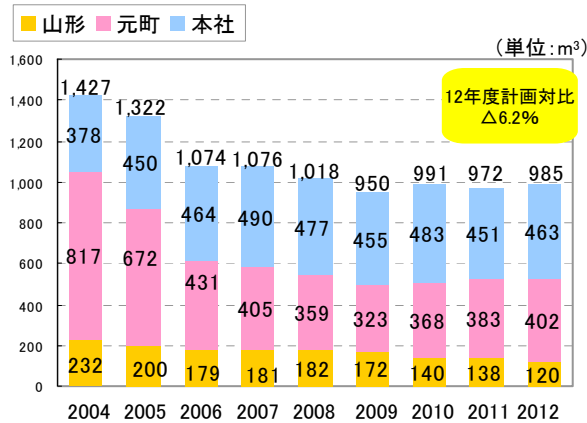




省資源活動

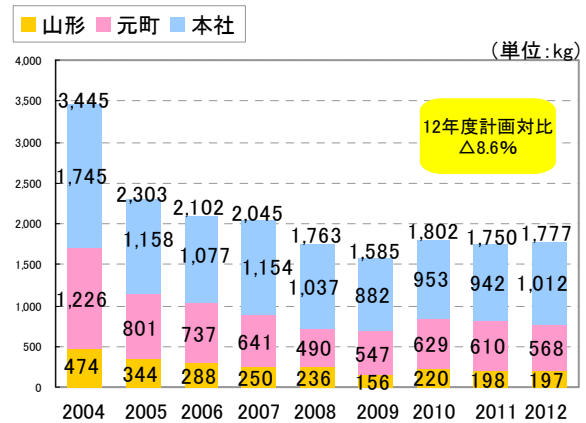
節水活動の推進

2012年度の水道使用量は985m³で、計画対比6.2%減となりました。当社での水の用途はほとんど生活系であるため、ほぼ横ばいで推移しています。



紙資源の削減

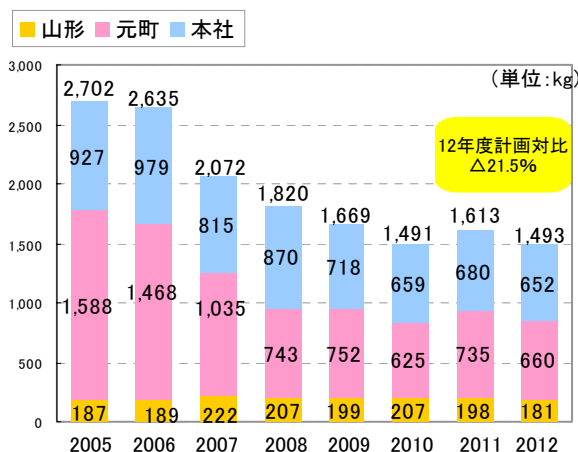
2012年度のコピー用紙等の紙使用量は1,777kgであり、計画対比8.6%の削減となりました。社内での電子化は定着しているため、こちらもほぼ横ばいの推移となっています。



廃棄物の排出削減

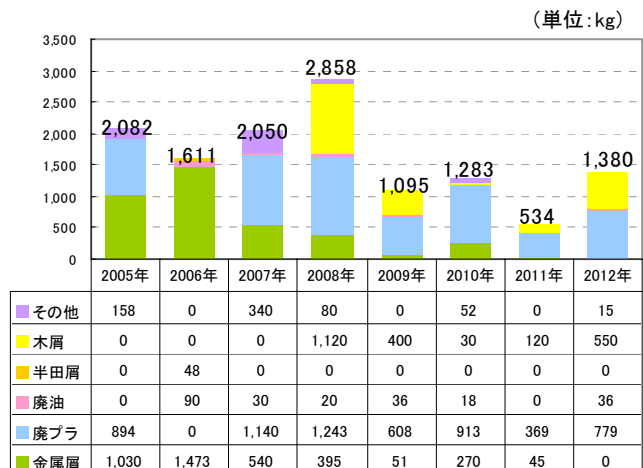
一般廃棄物

2012年度の一般廃棄物排出量は1,493kgとなり、計画対比21.5%減となりました。大幅減の要因には生産活動の状況も含まれています。



産業廃棄物

2012年度の産業廃棄物の排出量は1,380kgでした。金属屑関係を全てリサイクルで処理することが可能となり、より一層の廃棄物削減に努めています。



※2012年度実績は2012年4月～2013年3月排出量をマニフェスト管理状況として自治体に届けたもの

■ 緊急対応訓練

当社では、敷地外に環境汚染を及ぼす可能性ある要因として灯油の漏出事故を掲げています。今年度も給油時等での事故を想定して緊急対応訓練を行いました。



元町



山形

■ 廃棄物収集運搬・処理業者現地確認

当社では、委託している産業廃棄物収集運搬業者及び処理業者を計画的に訪問し、保管状況、作業状況、法対応状況等の適切性を確認しています。



廃棄物処分場A



廃棄物処理場B

■ 法遵守及び苦情への対応

当社は、創立以来環境関連法の違反はありませんでした。又、行政からの指導並びに地域住民からの苦情もありませんでした。

■ 当社に適用される環境法規制等

環境法規制等一覧

大気汚染防止法
水質汚濁防止法
省エネ法
廃棄物処理法
家電リサイクル法
建設リサイクル法

労働安全衛生法
(鉛則、有機則)
消防法
毒物及び劇物取締法
フロン回収破壊法
自動車リサイクル法

宮城県公害防止条例
山形県環境保全条例
仙台市公害防止条例
山形市環境条例
仙台市火災予防条例
山形市火災予防条例

(努力義務は除く)

当社は、年度環境教育訓練計画のもと種々の内容の教育を行っています。

■ 環境教育の実施

教育名	実施部門	実施日	受講者数
経営層・幹部教育	品質管理課(ISO推進)	全社 7月25日	3名
管理職・一般社員教育	品質管理課(ISO推進)	本社工場 7月25日 元町工場 7月24日 山形工場 7月19日	126名
特別管理産業廃棄物管理責任者教育	外部機関	8月	1名
内部環境監査員フォローアップ教育	品質管理課(ISO推進)	全社 8月9日	8名

・上表において、各工場の対象者に対して一括して実施したものを「全社」としました

2012年
7月

階層別一般教育

階層別教育は、前年度の環境活動の結果と共に今年度の活動内容を全社員に理解してもらうこと、及び顧客の要求事項等の周知を目的として毎年7月に定期的に行っています。2012年度はガソリン削減の為にエコドライブについてもとりあげ、教育を実施しました。



本社



元町



教育資料

2012年
8月

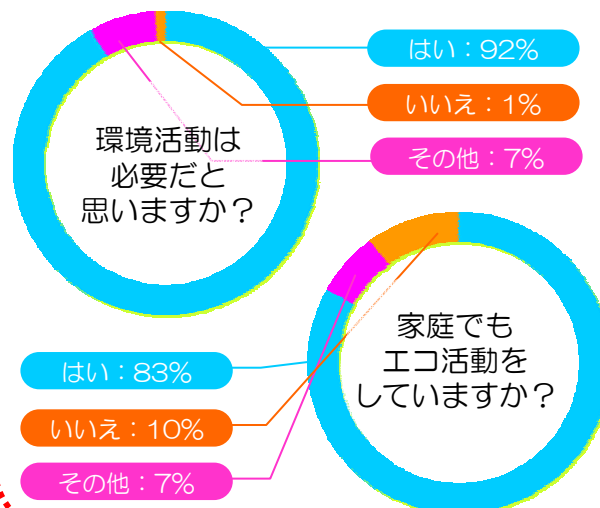
内部環境監査員 フォローアップ教育

内部環境監査の質の向上及び監査レベルのアップを目的としてフォローアップ教育を行いました。



環境意識調査

2013年7月に社員への意識調査を行いました。社内外でもエコ意識の高まりが窺えました。



当社は、3つの柱からなる監査体系をもって環境マネジメントシステムの維持・向上を図っています。

■ 監査体系

監査の種類	監査の内容	実施
ISO14001維持審査	外部審査機関による ISO14001維持審査	年1回
内部環境監査	当社認定監査員によるパフォーマンスを含む ISO14001適合監査(全職場)	年1回
環境管理責任者パトロール	環境管理責任者を隊長とする環境、品質、 5S、安全を含めての総合監査	年1回

2012年
10月

ISO14001維持審査

2012年10月に受審した維持審査では不適合なし、観察事項4件でした。観察事項とされたコメントに対しても全て改善に結びつけるために対応しました。



トップインタビュー風景



現場審査(本社)



部門審査(山形)

2012年
8月

内部環境監査

2012年8月に実施した内部環境監査では不適合2件、アドバイス10件の指摘がありました。不適合、アドバイスとも9月までに是正、改善を終えました。



元町

2012年
10月

環境管理責任者 巡回パトロール

2012年10月に行った環境管理責任者主催のパトロールでは全ての拠点进行り、7件の指摘がありました。当月中に改善をしています。



本社

環境コミュニケーション

当社は、継続してステークホルダーの方々に環境に関わる情報を発信しています。今年度も引き続き社外に向けては凌和電子ホームページ及び環境・安全報告書での情報発信、又社内向けには環境ニュース(毎月発行)、環境ニュース特集号(エコ生活情報)を発行しました。

■ 当社のステークホルダー

行政・業界団体

- ・環境報告書
- ・ホームページ
- ・活動への参加・協力

取引先

- ・環境報告書
- ・お取引様へのお願い

社員

- ・環境ニュース
- ・社内Web
- ・環境掲示板

顧客

- ・環境報告書
- ・ホームページ

株主

- ・環境報告書
- ・株主総会

地域住民

- ・環境報告書
- ・ホームページ
- ・地域美化活動

■ 情報発信

環境・安全報告書

当社の環境活動を広く知ってもらうことを目的として環境・安全報告書を発行しています。今回は第8回目となります。

環境ニュース(エコ生活情報)

環境ニュースは、社員への情報提供として最も効果的な方法であるので、月1回の発行を継続しています。

社内イントラネット、掲示板

社内イントラネットに環境のコーナーを設け、環境 規定類、帳票類、環境活動実績、環境情報、顧客の 要求事項、環境に関わる議事録等を開示しています。

ホームページ

当社のホームページに環境報告書や環境コミュニケーション情報を開示しています。



凌和電子ホームページ



環境ニュース

■ 地域、行政活動への参加、協力

チャレンジ25への参加

当社は地球温暖化防止のための国民運動であるチャレンジ25キャンペーンに賛同し、登録を行っています。このキャンペーンを通し、CO2削減への運動を広く呼びかけています。

エコにこオフィス

当社は環境配慮型事業所の認定更新を受け、継続してグリーン購入やごみの減量等を行っています。

仙台・みやぎクールビズ宣言

当社は2006年より継続して[仙台・みやぎクールビズ宣言]に参加しています。社員がバッジをつけたり、ポスターを掲示する等、エアコンの使用を控えることにより地球温暖化防止や節電に協力しました。

仙台市[3R事例集への掲載]

環境に配慮した事業活動を行っている事業所として仙台市発行の事例集で当社が紹介されました。



3R事例集

地域貢献・工場独自の活動

当社は、活動の更なる活性化と工場の取り組みに一層の自主性を持たせることを目的として工場独自目標を増やし、活動しています。各工場で特色のある活動を展開しています。

本社・本社工場

本社・本社工場は当社では唯一スタッフグループと技術グループに分かれています。スタッフグループでは特にオフィス用品グリーン調達や車の使用率が高い営業の燃費向上運転を、技術グループでは回路部品点数削減等、それぞれの分野で活動に取り組んでいます。全員の活動としてはまち美化サポート活動やエコキャップ運動を継続しています。

仙台まち美化サポート活動

隔月で工場周辺美化活動を行っています。綺麗な街づくりに微力ながら協力しています。



清掃メンバー

回路部品点数削減の 為のIC化

FPGA化により部品を集約することが出来ます。部品点数の削減は廃棄物削減の他、品質の向上にも繋がっています。



FPGA化により集約された部品(赤丸)

燃費向上運転 推進

ガソリン使用量を減らすために、燃費を算出し、エコ運転の啓蒙を行っています。



エコキャップ運動※の 推進

2010年度からエコキャップ運動を継続して行っています。2012年度は5,160個をエコキャップ推進協会へ提供しました。これはポリオワクチン6人分になります。



エコキャップの回収

オフィス用品 グリーン調達

当社で利用しているオフィス用品は、すべて環境に配慮したグリーン商品を使用しています。



※エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを回収し再資源化した収益で世界の子供にワクチンを寄付する活動です。

VOICE



●回路部品点数の削減

当社ではセミナーを受講する等、積極的にFPGA化を取り入れています。部品が集約されることで廃棄物の削減だけでなく小型化等の改良にもつながります。

研究開発G ● 熊谷明洋



●オフィス用品グリーン調達

オフィス用品を発注する時には環境に配慮した製品を選ぶようにしています。最近ではエコ対応製品も増え、社会的な需要の高まりを感じています。

総務課 ● 稲村愛

元町工場

元町工場は工業団地に属しています。工団地組合内での清掃活動等には積極的に参加しています。また、当社の働きかけで始まった献血活動は、団地組合内の他社からも参加があり、定着化してきました。製造部門のある元町工場では、分別やりサイクルを推進し、産業廃棄物の削減にも努めています。

工業団地内清掃への参加

共通駐車場や工場内の清掃・草取り活動を行っています。



清掃の様子

工場内緑化の推進

緑化担当の音頭の元、工場に植物を植え、季節の草花を楽しんでいます。



手作りのプランターで緑化

献血活動への参加

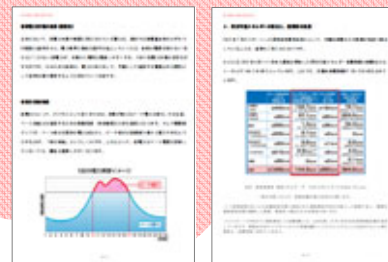
献血バスが団地組合事務所に来て献血を行います。これが献血初体験の社員もおりに良いきっかけとなっています。



献血の様子
(画像処理技術課・阿部知広)

エコ意識啓蒙活動

3ヶ月に1度のスパンで、環境に関する話題を配信しています。2012年度はエネルギーに関する話題を多く取り上げました。



配信したエコレポート

マイカー通勤の自粛

在籍人員の30%を目標に、エコ通勤を推進しています。震災以降、家庭でもガソリン使用を抑える意識は高まっています。



VOICE



●工業団地内清掃への参加

元町工場では全員参加で清掃と草取りを行っています。駐車場は当社の社員以外も利用するので、全員が気持ち良く利用できるよう、毎年実施しています。

機器製造課 ● 小嶋友香



●エコ意識啓蒙活動

全ての社員にエコ意識が定着するよう取り組んでいます。例えば裏紙。社内文書は全て裏紙利用とし、使用済みの大きい紙をA4サイズに裁断して使用する等、徹底しています。

機器製造課 ● 洞口正実

山形工場

山形工場は土地柄夏は暑く、冬は雪が多く降り、季節で大きく気温が変わります。空調管理には灯油とエアコンを併用する等、工夫を凝らし節電に努めました。また、エコ運転の意識強化を図り、外部講師による講習会を開催しています。今年度からは社会貢献としてインターンシップの受入れを目標に取り入れています。

エコキャップ運動の推進

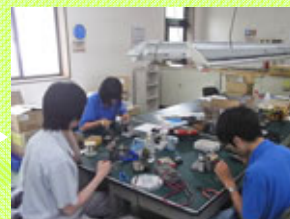
山形工場ではエコキャップだけでなく、プルタブの回収も行っています。



エコキャップ・プルタブ回収運動

インターンシップの受入

今年度はインターンシップの受入を目標に取り入れ、7月には2名の高校生を受け入れました。



社員による指導の様子

節電活動

震災以降、全国的な電力需給の逼迫に伴い、当社でも省エネ活動を強化しました。



設定温度の啓蒙

拡大地域清掃活動

毎月工場周辺の清掃を行っていますが、年2回範囲を拡大した広域清掃を実施しています。



清掃活動メンバー

エコ運転の啓発

エコ運転の啓発活動として毎月燃費を掲示しています。また、11月には外部の講師によるエコ運転講習会を実施しました。

VOICE



●エコ運転講習会

2012年度は山形工場として初めてJAF様によるエコ運転講習会を開催しました。ビデオによる実例を見ながらの解説は分かりやすく、とても参考になりました。

技術課 ● 水戸部弘喜



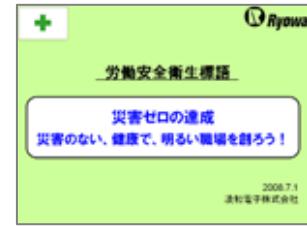
●拡大地域清掃活動

私は本社から異動となり山形工場に配属になりました。本社に比べ、山形の清掃範囲は大きな道路に面しています。その分ゴミも多く、全員で楽しみながら活動しています。

技術課 ● 柴崎俊雄

安全衛生管理

当社は、[災害ゼロの達成(災害のない、健康で、明るい職場を創ろう)]をモットーに安全衛生管理活動に取り組んでいます。2008年度以来労働安全衛生管理体制を一新し、「安全衛生活動計画」を策定し活動を進めています。



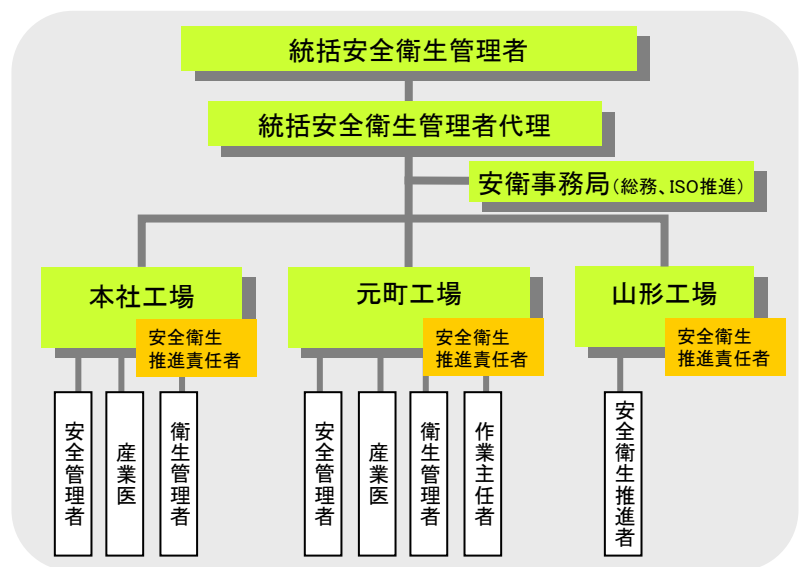
■ 安全衛生活動計画と実績

2012年度の活動計画に基づき活動の展開を図りました。全て計画通り実施しています。

重点実施項目	主な実施内容	実績評価
安全衛生管理体制の確立	組織体制見直し(管理組織・委員会組織)	○
	安全衛生計画の作成	○
	安全衛生委員会の開催	○
安全衛生意識の啓発・教育	安全衛生教育	○
	消防訓練の実施	○
健康維持・増進活動	健康診断の実施、受診の徹底	○
職場の作業環境整備	危険性・有害性の調査	○
	安全パトロールの実施	○

■ 安全衛生管理体制

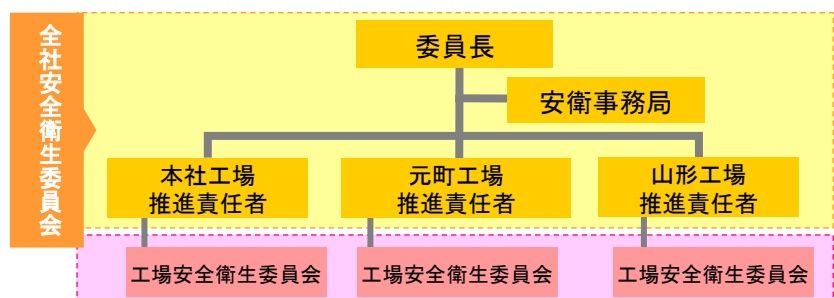
社長を安全衛生管理統括責任者とし、工場毎に推進責任者及び法定管理者を定めています。



■ 安全衛生委員会組織

全社及び各工場の安全衛生委員会組織に基づき、全社は年1回、工場は毎月安全衛生委員会を開催しています。

工場の委員会では社員からの様々な意見を吸い上げ、改善を図ることでより良い職場環境を目指しています。



■ 安全教育

当社は、毎年1回全社員を対象に安全衛生教育を実施しています。



山形



安全衛生教育テキスト

■ 健康診断

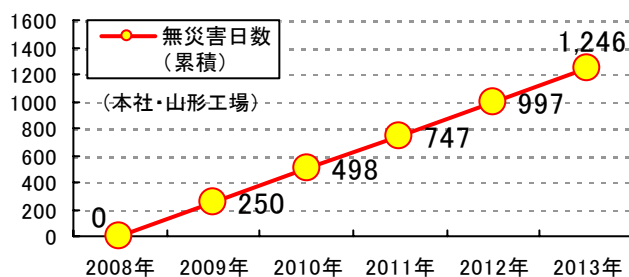
当社は、毎年定期健康診断、生活習慣予防診断、特殊健康診断(鉛、VDT)を実施しています。

2012年度の定期健康診断において未受診者はありませんでした。今後も100%継続を目指します。

工場	定期健康診断 受診率	備考
本社	100%	受診者52名／対象者52名
元町	100%	受診者42名／対象者42名
山形	100%	受診者25名／対象者25名

■ 無災害記録の継続

当社は、中小企業無災害記録証授与制度を利用し、無災害記録の継続を目指しています。昨年度は本社で努力賞を受賞しました。



※記録は6月末(期末)時点の累積日数です。
※元町工場では休業災害が発生したため、累積92日となっています。

■ 防火訓練・避難訓練

工場ごとに火災や地震を想定した訓練を実施しました。今年度も本社では総合警備保障様にご指導いただき、水消火器を使った消火訓練を実施しました。

本社



消火訓練



避難訓練

元町



通報訓練



点呼・報告

山形

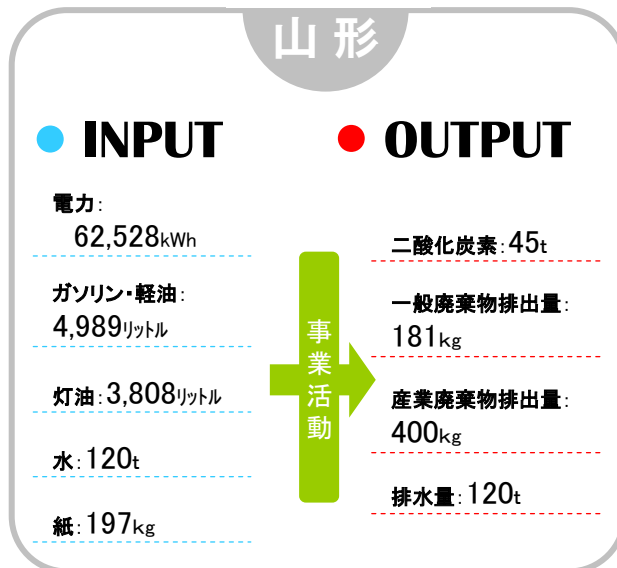
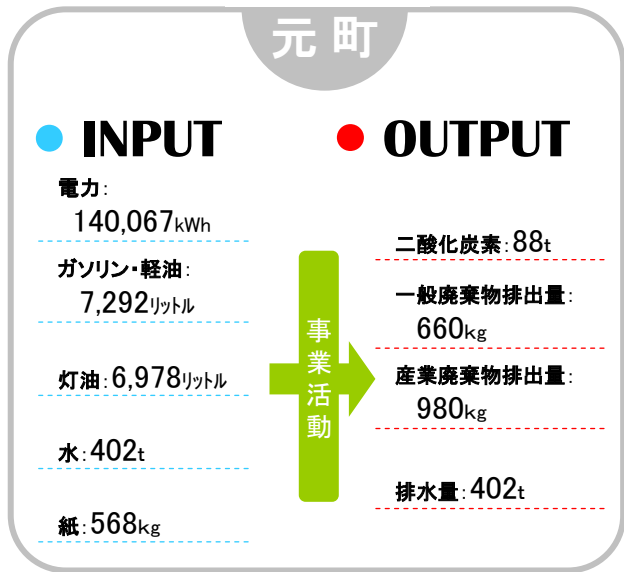
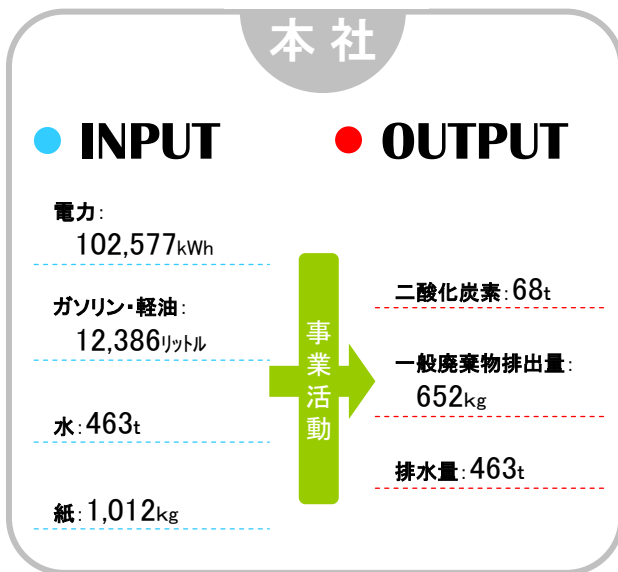
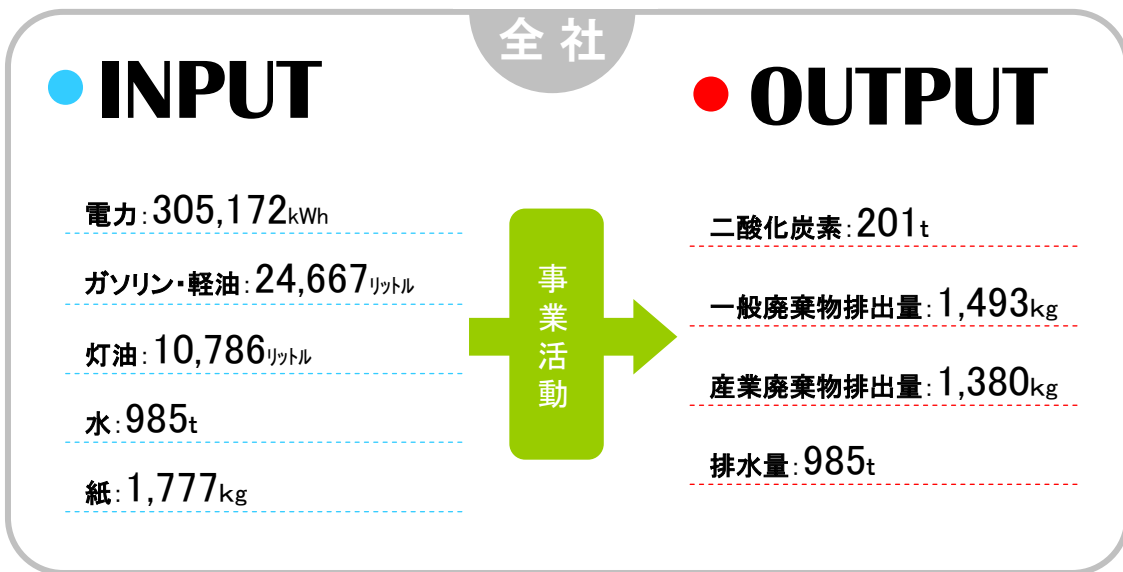


消火訓練



救出訓練

環境負荷マスのバランス





凌和電子株式会社

〒984-0805

宮城県仙台市若林区南材木町48番地

URL : <http://www.ryowa-electronics.co.jp/>

お問い合わせ: 品質管理課ISO推進(飯田・永峯)

TEL:022-266-4188 FAX:022-268-7493

発行:2013年9月 次回発行予定:2014年9月